

クイントルブリック 855

難燃性油圧作動油

用途

QUINTOLUBRIC® 855 は植物油系作動油やポリオールエステルと同様に耐摩耗性鉱物油系作動油に置き換わる製品として開発されました。QUINTOLUBRIC® 855 は全般的な作動油システムに悪影響を与えることなく、火災の危険性のある用途や環境面で厳しい条件を要求される用途においても使用することができます。

QUINTOLUBRIC® 855 は高品質の天然エステルをベースオイルとして使用し、作動油として優れた性能を発揮するため厳選した添加剤を使用しています。QUINTOLUBRIC® 855 は水、鉱物油、リン酸エステルを含んでいません。

QUINTOLUBRIC® 855 はシステムからリークして部分的に入れ替わる作動油も入れて、温度が 70°C (150°F) 以下になるようにシステムを運転してください。

QUINTOLUBRIC® 855 は製造段階で既にろ過しているため使用前のろ過は必要ありません。鉱物油と比べて高い粘度指数であるため、広範な温度領域での使用に最適です。QUINTOLUBRIC® 855 は低温での始動性も優れており、また温度上昇時よりも高い粘度を保持します。

利点

- 火災の危険性が低い油圧作動油として FM によって認定されている
- 優れた潤滑性能をもつ
- 優れたせん断安定性をもつ
- 標準的なシール素材のほとんどに適合する
- 粘度グレードが ISO 46 または ISO 68 の作動油仕様のシステムに対応する
- 毒性がなく皮膚刺激性もない
- 有害成分を含有していない
- 欧州規格諮問委員会規格の試験法 (CEC L-33-T-82) で 90% 以上の生分解率をもつ
- 他の HFD 作動油と比較して低密度のため省エネ効果をもつ
- 優れたコストパフォーマンスをもつ

* 各国固有の MSDS がご利用頂けます。



一般性状

性状 (試験方法)	855 (014207)
外観	黄色 ~ 褐色 液体
動粘度 (ASTM D 445) 20°C 40°C 100°C	118 mm ² /s または cSt 55 mm ² /s または cSt 12 mm ² /s または cSt
粘度指数 (ASTM D 2270)	220
密度 (15°C) (ASTM D 1298)	0.92 g/cm ³
酸価 (ASTM D 974)	0.95 mg KOH/g
流動点 (ASTM D 97)	-21 °C 未満 (-6 °F 満)
泡テスト (25°C) (ASTM D 892 シーケンス I)	0-0 ml-ml
防食性 CETOP R 48H ASTM D 665 A ASTM D 130	合格 合格 1a
引火点 (ASTM D 92)	310°C (590°F)
燃焼点 (ASTM D 92)	355°C (675°F)
放気性 (ASTM D 3427)	8 分
水分離性 (ASTM D 1401)	41-39-0 (25) ml-ml-ml (分)
ケン化価 (QTN* C012)	183 mg KOH/g
自然発火温度 (DIN 51794)	>400 °C 以上 / >752 °F 以上
難燃性 (FM Approvals)	承認
ポンプテスト (ASTM D 2882)	磨耗量 5 mg 未満
ギヤ潤滑 (DIN 51354-2)	>12FZG Load stage 以上
比熱 (20°C) (ASTM D 2776)	2.06 KJ/kg·°C Btu/lb·°F
熱膨張係数 (20°C) (ASTM D 1903)	6 X 10 ⁻⁴ / °C

クイントルブリック 855

難燃性油圧作動油

適合性

シール、ホース、パッキン

NBR やブナ (中高ニトリルゴム) のような標準的なゴム材質のほとんどに適合しますが、ゴム材質には多くの種類があるため、適合性や用途に関する具体的なご質問については、ゴム素材メーカーまたはクエーカーケミカルの実験室までお問い合わせください。FPM(Viton®) は優れた結果が得られており、より高温の状態での使用にお奨めします。

金属

QUINTOLUBRIC® 855 は鉄、スチール合金、ほとんどの非鉄金属とその合金に対して適合しますが、鉛、カドミウム、亜鉛およびそれらを高濃度に含む合金には適合しません。高濃度の鉛合金を含む物については他の適切なものと交換してください。亜鉛については「塗料」の項をご参照ください。

他の作動油

QUINTOLUBRIC® 855 は他の HFD-U 作動油や鉱物油と相溶性があります。別の製品に入れ替える際は、確認試験の実施をお奨めします。QUINTOLUBRIC® 855 は水や水ベースの作動油とは混ざり合いませんが、QUINTOLUBRIC® 888 や 822 シリーズの作動油とは相溶性があります。

塗料

QUINTOLUBRIC® 855 は優れた耐食性を有するため油圧装置内のペイントコーティングは通常必要ありません。QUINTOLUBRIC® 855 は多成分からなるエポキシコーティングに適合します。QUINTOLUBRIC® 855 は亜鉛ベースのコーティングには適合しません。特殊なコーティングや用途については塗料メーカーまたは直接クエーカーにお問い合わせください。

管理

作動油の寿命を伸ばすため水やほこりのない場所で保管してください。高温になる場所での保管は避けてください。作動油の分析を 1 年に 2 回以上定期的を実施することをお奨めします。クエーカーでは作動油の分析サービスも実施しておりますので、詳細についてはクエーカーにお問い合わせください。

安全性

作業所内での健康面や安全上の対応策に関する情報については化学物質等安全データシート (MSDS) を参照してください。MSDS はクエーカーから直接ご提供しておりますので、詳細についてはクエーカーにお問い合わせください。

保管

以下の状態で保管する場合、少なくとも 12 ヶ月間は保存することができます：長期間保管する場合の推奨温度範囲：0 ~ 40°C；使用しない場合はコンテナまたはドラムに入れてふたをしっかりと閉めておく。通気性の良い乾燥した場所で保管する。

